

医療法人 十全会「おおうらクリニック」

診療理念

“私たちは、患者さんの良きパートナーとして
患者さんに寄り添い、安心安全な医療の提供に
努めます。”

目次

巻頭 最近の医療事情	1
台湾人の団体旅行透析者の管理	
赤嶺正樹・高良恭史・上原りよ子・大浦 孝・楠 憲夫	2
全盲で介護施設から車椅子で通院中の透析患者	
赤嶺正樹・金城あゆみ・楠 憲夫・大浦 孝	4
いやしの郷おおうら 施設紹介	6
地域医療部実習レポート①②	8
事務局報告・編集後記	9



四季
暖流



医療法人 十全会
おおうらクリニック

ホームページ <http://www.oura-cl.com>

台湾人の 団体旅行透析者の管理

医療法人十全会 おおうらクリニック

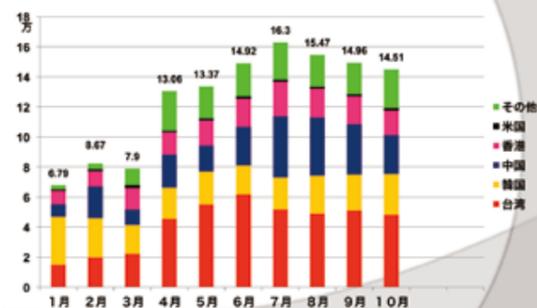
赤嶺正樹・高良恭史・上原りよ子・大浦 孝・楠 憲夫



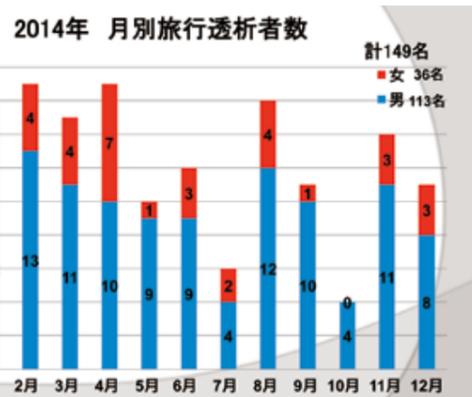
背景と目的

国際交流・観光立県の波に乗り、入域観光客数は年々増加し、その一環として透析者の来沖も増加している。当院では国内は元より海外からの透析者の対応・管理体制を構築して積極的に受け入れている。年間150名程度で、20年間で総計1200名以上を受け入れた。今回、台湾より20名の透析者を受け入れたので透析医療技術の比較、疾病構造の比較を中心としてその経緯を報告する。

H27年 沖縄県外国人観光入客数



沖縄観光推進ロードマップで掲げた 誘客目標



医療情報提示

誓約書

平成 年 月 日

1. 1ヶ月前予約(男女計何名)
2. 2週間前医療情報送付。
3. 当日午後4時迄入室。(医療情報原本、透析記録持参)
4. 医療情報・透析条件により判定されます。

〒901-0145沖縄県那覇市高良3-5-22
医療法人十全会 おおうらクリニック
理事長 大浦 孝 印

巻頭

最近の医療事情

大浦 孝



県内最大手のスーパーはテナント制でいわゆる出店の集合体です。お客のニーズによってアメーバーの集合体の様に有機的に結合し、相乗効果を発揮しつつ日々変革しております。出店では毎朝品物の配置に工夫を凝らしております。それでも出店の統廃合は日常茶飯事で日々脱皮しております。その中枢は営業本部長ですし、専務、社長がその責任と義務をになっております。大型総合病院もそのような機能を有し、その地域と時代の要請で日々変革しております。厳しい医療費抑制政策の下でスーパー同様のヒト・モノ・カネと経営手腕が問われています。

敷衍して県内の医療事情も同様を考えることができます。今回は次の三者につき考察を試みて、私見を述べてみます。

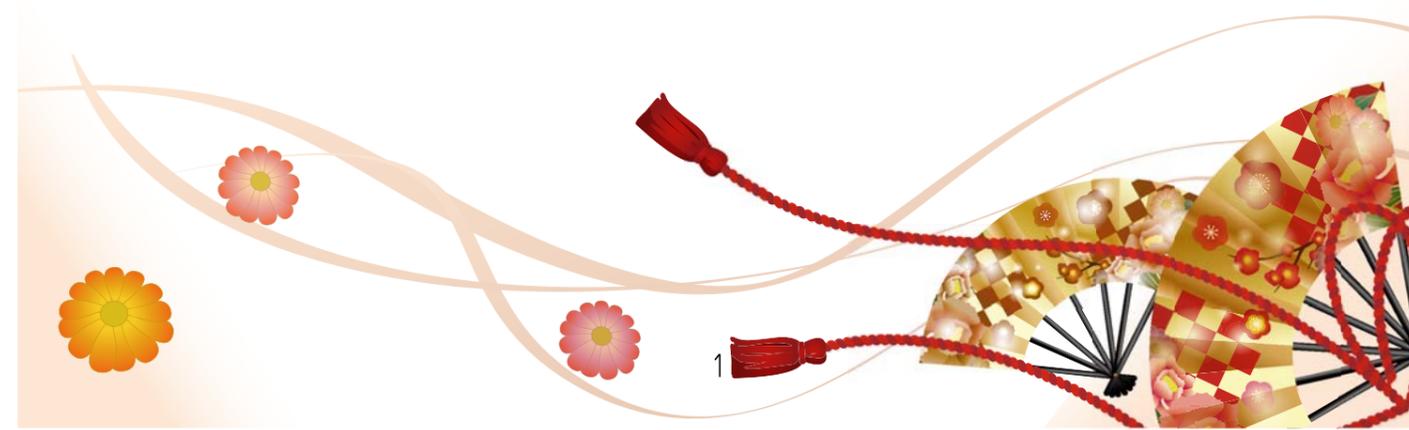
- ①医師会：地域の隅々まで末端組織が浸透し、その地域と時代の要請に最も鋭敏なセンサーを保持しております。実際にそれを具現し地域医療計画案を審議しております。
- ②医育機関：大学病院、県立病院、研修指定病院のことで沖縄県の研修システムが全国でも注目され毎年150名以上の若き研修医が効率よく2年間で一般医として成育しております。さらに専門教育も必要ですし、医学者(研究者)も必要ですし行政官も必要でしょう。
- ③県当局：「県民の健康と命を守る」べく付託されたのが県当局の責務であります。特に複雑極まりない沖縄県の行政において、すでに進行中の少子高齢化社会に対

応すべく、5ヵ年計画、10ヵ年計画を策定し、予測し、補完する立場にあります。

三者とも順調に機能し、変革し、進歩しているものと思っておりました。ところが、破綻も出てしまったのです。いわゆる過疎地域の医師欠員、専門医不在、過重労働、医療事故、保障等々。それぞれルーチンワーク(日常業務)をこなしていたのです。

ところで医療界では突発事故は起こるものとして作業しております。予測できない事、突発事象には迅速に対応し、被害を最少限にとどめるのも医療人の力量といえるでしょう。医療現場ではチームワークによって事故は防げます。不協和音は事故の元です。上記①②③はそれぞれ医療人の集団です。各論として簡単に紹介しましたが、むしろ現在では総論を述べ、グランドデザインが描ける人物の発言を期待するものです。文珠の知恵も借りたいゆえんです。

今、少子高齢化社会の下、社会保障財源には厳しいものがあります。この時こそ三者一体となって本部長の下に沖縄県の地域医療計画を充実させる時期にあるのではないのでしょうか。全国から若いドクターが150名以上も参集しているのですから医療の需要と供給のバランスが均衡するモデルケースとなり得ます。沖縄県の医療事情が好転するか劣化するかの分岐点にあると思っております。



全盲で介護施設から車椅子で 通院中の透析患者

医療法人十全会 おおうらクリニック
赤嶺正樹・金城あゆみ・楠 憲夫・大浦 孝

止め休んだがその後も同症状があり気になったので眼科受診。上記診断から2、3年かけて目が見えなくなっていった。

現病歴

2004年 下肢浮腫がひどくB病院受診し、慢性腎不全の診断で、かなり悪化しており透析が必要と言われる。

2004年 3月 左内シャント造設術。

2004年 4月 透析導入。

2012年10月 下肢閉塞性動脈硬化症(A S O)で左大腿動脈の閉塞部ステント留置。

2012年 5月10日 シャント閉塞あり左内シャントP T A。P T Aで閉塞部拡張できず、シャント再造設が必要となり、緊急でU Kカテーテル留置しHD施行し、専門のC病院へ紹介される。

2012年 5月12日 右内シャント造設術で1W程入院し退院。C病院退院後、B病院での透析再開となる。

2015年 5月11日 当院転入。透析開始となる。(介護施設入所中)

合併症

2015年4月 右下肢皮膚壊疽で右膝デブリードマン、左背部からの植皮術施行。右膝痛にて湿布薬貼付後より掻痒感あり。掻きかぶれ皮膚壊死しているのを利用中のデイサービス職員にて発見されB病院受診。デイサービスにて継続的に処置していたが悪化傾向。B病院へ受診促し、手術目的にて入院となる。植皮生着25%程度、右膝創潰瘍15mmあるも本人退院希望強く退院となった。退院後は定期的に通院。デイサービスにて毎日洗浄、処置継続。(B病院再診にて、背部創7/14治癒・右膝9/15治癒の診断)

シャント歴

2015年6月中旬 シャント音が弱くなり動脈側に狭窄

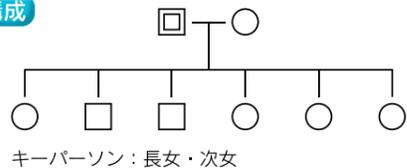
症 例

症 例 S.M. 男性 82歳

出 身 那覇市首里

原 疾患 II型糖尿病で全盲。要介護2

家族構成



生活歴

粟国島生まれ。20歳頃から那覇市へ移住。29歳で結婚。妻と共に市場にて漬物屋を営まれる。子がそれぞれ独立してからは妻と二人暮らし。

糖尿病性網膜症により6年前から目が見えなくなり、週3回の透析日以外は日中ほとんど自宅にて一人で過ごされていた。家では伝い歩き、妻の手引き歩行でADLは声掛け、見守り～軽介助であったが下肢筋力の低下があり転倒のリスクが大きくなったため介護サービス利用となる。

2015年2月27日「いやしの郷」デイサービス見学。3月3日より利用開始。下肢筋力の更なる低下、妻の介護負担も大きくなり自宅での生活が困難となったため短期入居を経て2015年9月14日～「いやしの郷」入居中。

既往歴

25年程前(57歳頃) A病院にて糖尿病と言われ内服治療開始。

眼科を受診する様言われ受診し、特に問題なし。しばらく通院するが、本人希望にて某医院へ転院する。(1回/月、以後7～8年間通院、内服療法のみ)

12年程前(70歳頃) B病院で糖尿病性網膜症と診断される。

工作中、高速道路を運転していると突然目の前に光が出たり消えたりした。疲れているのかと何度も車を

団体旅行透析者2陣の臨床像

氏名	年齢	性別	原疾患	透析歴	合併症	留意点
① 藤 OO	64	女	CKD	13	高血圧	
② 林 OO	58	女	DM	8	H.T HPT	
③ 藤 OO	65	男	CKD	8		
④ 藤 OO	61	女	CKD	7		
⑤ 藤 OO	40	女	高A腎値	5	H.T	
⑥ 王 OO	65	男	DM	8	CAD	HCV(+)
⑦ 藤 OO	38	女	CKD	7	AMI (CABG)	
⑧ 藤 OO	57	男	CKD	12	HPT CAD	
⑨ 藤 OO	61	女	CKD	11	H.T 腎臓病 糖尿病	
⑩ 藤 OO	59	男	DM	1	H.T	

団体旅行透析者2陣のLabo. Data.

氏名	A.L.B(g/dl)	H.b(g/dl)	T-Chol(mg/dl)	T.G(mg/dl)	K(mmol/l)	Cr(mg/dl)	P(mg/dl)
① 藤 OO	4.0	10.7	202	172	5.0	9.0	3.9
② 林 OO	4.1	10.8	115	241	5.0	8.2	4.9
③ 藤 OO							
④ 藤 OO							
⑤ 藤 OO	4.4	10.0	126	175	5.0	9.8	3.3
⑥ 王 OO	3.8	10.0		84	8.2	9.5	6.6
⑦ 藤 OO			145	213	4.5	11.8	5.4
⑧ 藤 OO	4.8	10.1	138	166	4.7	11.0	5.3
⑨ 藤 OO	3.4	8.9	216	162	3.8	9.3	2.7
⑩ 藤 OO							

考 察

言語・通貨・食物・宗教と文化の違いはあるが、医療機材、透析方法、医療技術レベルに大差なく、疾病構造では冠動脈病、骨代謝異常等の合併症があり、HCVを4例認めた。業務行程では(1)バスから透析室ベッドまでの誘導。(2)目標体重・除水量の設定。(3)穿刺部位の決定。(4)透析中の通話手段。(5)食事の有無等が課題となる。透析中のインシデンスとして穿刺困難、回路交換、ダイアライザー交換、血圧低下、嘔吐等を認めた。

結 果

慢性腎不全一血液透析治療施行。終了無事帰国安全。熱烈歓迎再会感激。との診療証明書を発行した。

結 論

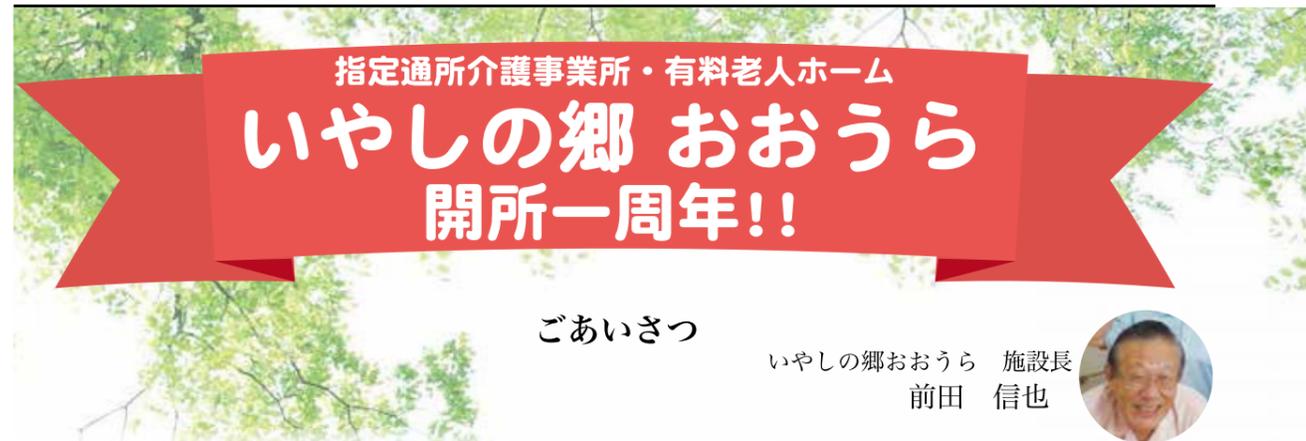
将来は透析医療チームの海外派遣も可能となり、国際貢献の一助となる。

沖縄県の位置づけ



沖縄県の県庁所在地である那覇と東京間を半径とする、1500kmの円内には、上海や台北、香港、ソウル、マニラなど、アジアの主要都市があります。すなわち、沖縄は、中国、東南アジア、オセアニアなどに最も近い距離に位置する日本の南玄関といえます。

●沖縄県企画部土地対策課ホームページより抜粋



指定通所介護事業所・有料老人ホーム

いやしの郷 おおoura 開所一周年!!

ごあいさつ

いやしの郷おおoura 施設長
前田 信也



進化し続けているいやしの郷も12月15日で1周年を迎えます。

これまで利用者様、ご家族様、地域の皆様に支えられここまでできました。

18名の素晴らしいスタッフが食事・医療・生活の支援を通して、ソフト面を一層充実させて「安心できる生活」をご提供させて頂いております。これからも利用者様に支持され、満足していただける施設を目指して邁進して参りますので、長いおつきあいの程、お願い申し上げます。

皆様にとって来年も良いお年でありますよう、祈念しております。

いやしの郷おおoura職員取り組み

- 1月 ・就業規則の制定 ・1/5 デイサービス開所
- 2月 ・老人ホームでの夜間オンコールの開始
- 3月
- 4月 ・2015 介護報酬改定 ・職員検診スタート
- 5月 ・決算理事会
- 6月
- 7月 ・那覇西消防適合検査 ・甲種防火管理者資格講習（職員1名）
- 8月 ・沖縄県看護実務者研修（職員1名）
- 9月 ・消防訓練 ・沖縄県第2回認知症介護実践者研修（職員1名）
- 10月 ・27年度福祉サービスにおける苦情解決セミナー（職員2名）
- 11月 ・定期実地指導 ・消防設備の法定点検の実施
・インシデント事故防止対策報告会
- 12月 ・権利擁護推進員養成研修（職員1名）
・甲種防火管理者資格講習（職員1名）
・沖縄県第3回認知症介護実践者研修（職員1名） ・入居者満床
・開所1周年12/15



■一周年記念行事■

居宅介護支援事業所・介護支援専門員向け勉強会の開催決定!

日時：平成28年1月21日(木) 15:00~17:00

場所：おおouraクリニック3階会議室

講師：おおouraクリニック 透析科長 赤嶺正樹

テーマ：高齢者の透析治療について

お問い合わせ

☎(098)996-4165 (前田・山原)

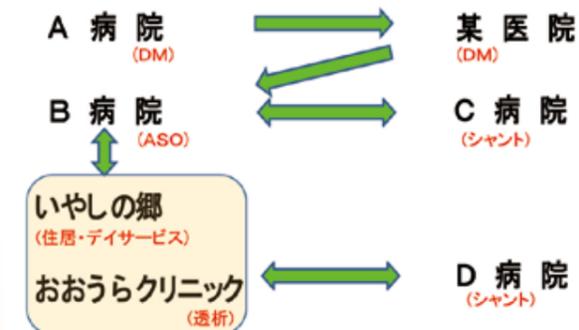
音が生じる。
2015年8月6日 D病院にてシャントPTA施行。内シャント静脈の主流は閉塞、かろうじて支流で流れている状態。閉塞部の拡張は不可。

血栓性完全閉塞も時間の問題。外科的に再建したほうがよい。血管表在化、グラフトが必要と外科医よりコメント。
2015年8月21日 穿刺時V側血管確保できず数回トライ。ようやく前腕裏側に確保するがA側の脱血も不可。D病院受診し、緊急でシャント造設術。(5日間入院)

問題点と対策

1. 右前腕表皮剥離後より処置継続するも創部治り悪く10/9創部膿よりMRSA(+)検出。
《洗浄+プロイメラン(壊死組織)軟膏塗布+白色ワセリン(周囲)1回/日処置》
2. シャントトラブルは、斬新なデザインにより、抜本的に解決した。
3. 下肢の血行障害あり、歩行困難による転倒、骨折等ADLの低下が予測される。
4. 高齢者で全身の血管病変あり、感染症(MRSA)も合併しており、医療・看護・介護ともに協力して包括的に対応する。
5. 近隣の専門医療施設との病診連携を密に構築する。

病診連携ネットワーク(自然発生)



内シャント造設術



手術記録

右上腕のシャント静脈(併走静脈)を外方化し、皮下に移動した。(表在化)直後、振戦、雑音強勢!!

術者 沖縄協同病院心外科 富山 真人

転入時検査所見

血算		生化学	
WBC	4860 (/μℓ)	TP	5.7 (g/dℓ)
RBC	354 (x10 ⁴ /μℓ)	ALB	3.3 (g/dℓ)
Hb	11.3 (g/dℓ)	UA	5.5 (mg/dℓ)
Ht	34.6 (%)	BUN	48.8 (mg/dℓ)
PLT	18.5 (x10 ⁴ /μℓ)	Cre	8.27 (mg/dℓ)
		Na	138 (mEq/ℓ)
PT-INR	1.53	K	4.1 (mEq/ℓ)
		Cl	105 (mEq/ℓ)
CRP	1.11 (mg/dℓ)	Ca	8.1 (mg/dℓ)
		IP	2.7 (mg/dℓ)
その他		Fe	39 (μg/dℓ)
GA	25.9 (%)	Ferritin	125.5 (ng/dℓ)
I-PTH	31.4 (pg/ml)	ALP	414 (u/ℓ)



右膝関節部の植皮術

地域医療部実習レポート

実習場所：おおوراクリニック
 実習日：2015年6月19日(金)、23日(火)
 氏名：M.M

現在の気持ち

普段、実習をしている大学病院だと医師や看護師や技師の方などが大勢いる診療科が多いですが、今回実習させて頂いた病院は1~2名程度の規模でした。このため、基本的に毎日同じスタッフ達で診療にあたる事になり、当たり前ですが、自然と阿吽の呼吸で行えるようになっていくのだと感じました。この事は医療スタッフ側だけでなく、特に定期的に診療や治療を受けている患者さん側からしても、いつも同じスタッフが対応してくれる事により親近感が生まれ、円滑なコミュニケーションが行えるようになっていくのだと感じました。

実習で学んだこと

今回実習させて頂いた病院では、老健施設への往診、人工透析、膠原病外来を主に行っている病院だったので、認知症や透析やRAなど教科書で学んだ症例の実際を見る事で、それらの症例の知識を深める事が出来ました。また、今回お世話になった病院だけでなく、様々な病院で実習させて頂き、様々な形の医療を見る事自体が、勉強になるのだという事がよく分かり、もっと色々な病院で実習したいと感じました。

実習場所：おおوراクリニック
 実習日：2015年9月8日(火)
 氏名：M.H

現在の気持ち

今回のおおوراクリニックでの見学では、まず患者さんたちとのコミュニケーションが良好に保たれていると強く感じました。クリニックならではの時間がゆっくり進んでいる感じが患者さんたちにいい意味で影響しているのかもしれないですが、患者さんたちが先生やスタッフたちに対して信頼をしているのが見て取れました。地域に根差した医療において患者さんと医療スタッフの信頼関係の重要性を再認識できました。

実習で学んだこと

今回おおوراクリニックでの実習ではクリニックでの透析及び膠原病におけるプライマリケアについて勉強させていただきました。まず透析ですが透析を行うにあたっての一連の流れ、透析が行われている原理、透析中の患者さんたちへの回診を見学、学習させていただきました。透析液の作り方やダイアライザーの仕組みについてプリントを用いもらって非常にわかりやすく説明していただきました。また回診では一人ひとりの患者さんに対して時間をかけて話を聞き透析やそれに関連したものでなく患者さんの全身を診ているという印象が強かったです。

外来では琉球大学ではあまり見る機会の少ない症例の方が多く来ていました。関節リウマチ、線維筋痛症、SLE、顕微鏡的多発血管炎、糖尿病など実に様々な症例の方がいました。糖尿病にはSU剤はもうほとんど使われていないということ、メトトレキサートの処方仕方など単なる国家試験の勉強だけではわからないようなことを教えていただき大変有意義な時間を過ごせました。



年間行事の様子
 集って楽しい！いやしのレク☆レク☆レク☆



月	行事	月	行事
1月	●初詣 ●美ら海水族館見学	7月	●そうめん流し
2月	●花見ドライブ(与儀公園) ●外食(そば)	8月	●買い物会
3月	●ひな祭り	9月	●第一回敬老会
4月	●浜下り(奥武島)	10月	●ミニ運動会
5月	●鯉のぼり見学	11月	●誕生会
6月	●誕生会	12月	●クリスマス・忘年会

いやしの郷おおوراでは、外出困難な方や重度の利用者様でも安心して余暇活動に参加していただき、様々なレクや行事、屋外の活動でも積極的に計画・実行しています。

見学・体験随時受付中!!
 ☎098-996-4165

交通アクセス

●北部・中部からの患者さんの場合

◆市外線利用

①那覇バスターミナル下車

②糸満線に乗車

89番(琉球バス・沖縄バス)那覇西高まわり、航空隊経由

③新町入口にて降車

●南部からの患者さんの場合

89番那覇行きのバスに乗車、新町入口にて降車

●市内からの患者さんの場合

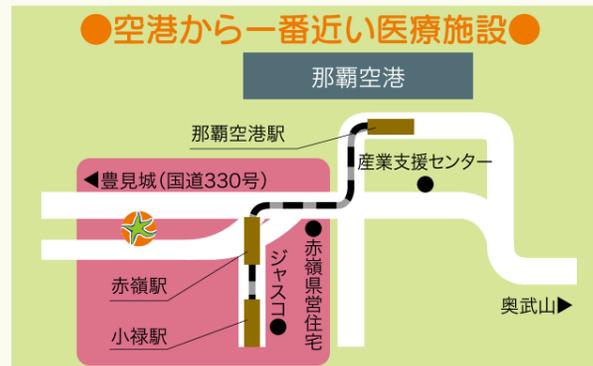
市内線9番大嶺線の通るバス停より乗車、新町入口にて降車

●モノレールからの患者さんの場合

赤嶺駅より徒歩5分

●県外からの患者さんの場合

モノレール那覇空港駅より乗車、赤嶺駅降車して徒歩5分



那覇市高良3丁目5-22

TEL.098-859-1941 FAX.098-859-1933

診療時間 月～金曜日 9:00～12:00/14:00～18:00
土曜日 9:00～13:00

休診日 日曜・祝祭日・土曜日午後

- ◆ 国立金沢大学医学部研修指定施設
- ◆ 琉球大学医学部学生実習指定施設

四季暖流

第16号(通巻十六号)

平成二十七年十二月二十三日発行(年四回発行)
平成二十一年二月十日発行

編集/十全会

発行所/医療法人十全会(沖縄県那覇市高良三丁目二十二)
電話〇九八―八五九―一九四二

印刷/新星出版

事務局報告

(平成27年7月～10月)

- 7月 PC保守サービス開始
管理栄養士 美らツネ 契約
HPにて難病医療相談開始
- 7月21日 実習生受入 21日
韓国人旅行透析者の受入
- 8月 新型超音波診断装置の導入
台風15号の影響による終日休診
- 9月 上半期棚卸し
- 10月 研修生受け入れ
中国人旅行透析者の受入
インフルエンザワクチン開始

編集後記

師走となりました。皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年も皆様方の甚大なるお力添えによって微力ながらも地域医療の一端を担えたことが何よりの喜びと感謝申し上げます。1月早々から始まるマイナンバー制度に向け、職員の個人番号の管理体制の構築と個人情報漏えい防止のセキュリティ対策に暮れる師走となっております。又、2016年は2年に一度の診療報酬改定を控えています。少子高齢化により医療費の財源は減少して医療費は増加するという環境の中で病棟重視から在宅重視へ、医療から介護・医療一体への流れに沿った改定が予想されます。

「おおうらクリニック」「いやしの郷おおうら」ともども時代背景に沿った地域医療のニーズに応じて行きたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。
(大浦 宏)

外来担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	院長 大浦	第2・4 院長 大浦 第1・3・5 Dr.楠				
午後	Dr.楠	Dr.楠	Dr.楠	Dr.楠	Dr.楠	第2 Dr.當山(循環器)

診療受付時間 平日 午前(8:30～11:30) 午後(14:00～17:30)
土曜 午前(8:30～12:30)

第2火曜日 午前 経鼻内視鏡・エコー検査をしております。(予約制)
毎月第2土曜日 午前 循環器エコー検査をしております。(予約制)

診療科目

一般内科、リウマチ、膠原病、人工透析、線維筋痛症専門外来

附属施設

いやしの郷 おおうら
住宅型有料老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所

診療協力病院

琉球大学医学部附属病院
沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター
沖縄赤十字病院
大浜第一病院
浦添総合病院
金沢大学医学部附属病院 リウマチ・膠原病内科

ホームページ <http://www.oura-cl.com>